

令和五年度

入学者選抜学力試験問題

国語

受験番号

注意 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。
問題作成の都合上、本文を一部変更しました。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本の三つの危機

「海に囲まれ、南北に長く、雨に恵まれた日本で、本来豊かであるはずの生物多様性は、今、危機に瀕しています」。これが日本政府による、自国の生物多様性に関する公式な見解である。二〇一〇年三月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2010」の文言だ。国家戦略は、日本の生物多様性に対する危機には三つの側面があるとしている。

第一の危機は、開発など、人間が引き起こす負の要因である。海岸や河川環境の破壊、魚の乱獲など、数え上げればきりが無い。

第二の危機は、これとは逆に、

I

による悪影響である。昔は、

近くの森や山に立ち入って、薪や炭の原料となる木材、屋根を葺くための材料や、食料を得てきた。このように人間が関与することによって成り立ってきたさまざまな自然が日本には存在する。「里山」「里地」などと呼ばれるものだ。ところが、過疎化や高齢化の進行、農林水産業の衰退などによって人間が利用しなくなった結果、生物の生息状況も悪化するようになってきた。

第三の危機は、生物の外来種や有害な化学物質など、人間が外部から持ち込むことによって起こる生態系の「攪乱」である。

ブラックバスやブルーギルなどの外来魚は、全国各地の河川や湖沼の生態系に大きな影響を与え、琵琶湖などでの固有の淡水魚の個体数の減少を招いたと指摘されている。ハブの駆除の目的で持ち込まれたマングースや、ペットとして北米から大量に輸入されて野生化したアライグマなどが各地で問題を引き起こしている。日本固有のオオサンショウウオが近縁のチュウゴクオオサンショウウオと交雑するといった「遺伝子汚染」の問題も起こっている。

環境中で分解されにくい農薬やポリ塩化ビフェニル(PCB)などの有害物質は、生物の体内に高濃度で蓄積する。生物が生きていく上で重要なホルモンと似たような働きをして、その機能を阻害する。「内分泌攪乱物質(環境ホルモン)」や、漁網や船の底に貝などが付着するのを防ぐために使われ、ごく微量で海洋生物に悪影響を与える有機スズ化合物など、生物の生息に悪影響を与える化学物質は数多い。これらの三つの危機は別々に発生するわけではなく、多くの場合、複数の危機が同時に一つの場所でおこる。

図1



チュウゴクオオサンショウウオ

総合評価

日本の生物多様性に忍び寄るこれらの危機を示すデータは数多い。

図2は、維管束植物の絶滅種・野生絶滅種・近絶滅種について、いつごろ起こったのかを年代別に並べたグラフである。二〇〇〇年代が少ないのは調査が二〇〇三〜〇四年に行われたためである。これを見ると、年々、植物の生育状況が悪化していることがわかる。

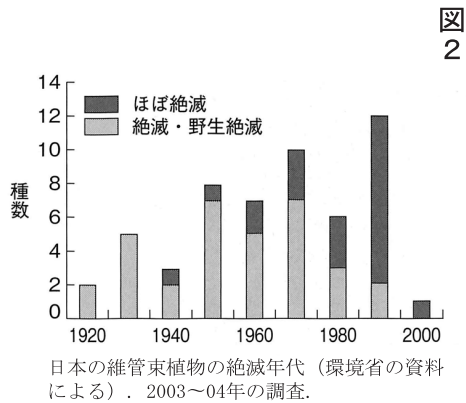
図3は、陸域・陸水域・沿岸域の生態系の面積の変遷を示したものだ。人工林の面積は増えているものの、天然林や草地の生態系が減っている。都市や宅地、道路などの急増ぶりも著しい。水辺の生態系の状況はさらに深刻で、一九〇〇年からの一〇〇年間で日本の湿原はなんと六一%もなくなってしまった。コンクリートなどで改変された海岸や河川、湖岸などの増加も著しく、海辺の干潟や海岸の自然破壊も深刻なことがわかる。

(中略)

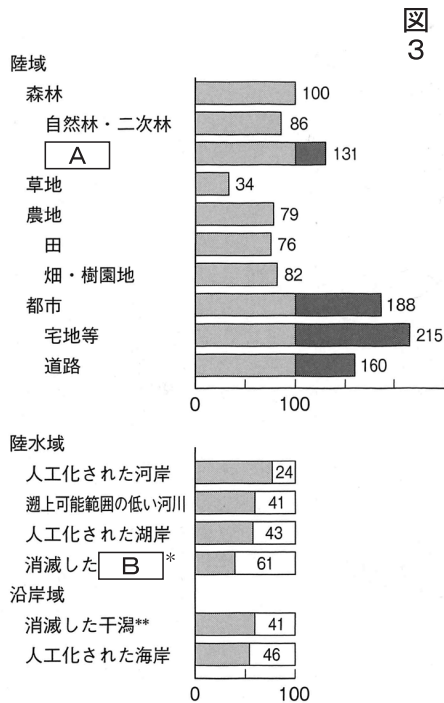
環境省は二〇一〇年に、これらの多くのデータを基に「生物多様性総合評価」をまとめた。「森林」「農地」「都市」「陸水」「沿岸・海洋」「島嶼」の六つの生態系ごとに、損失の程度を評価し、今後の傾向の予測を行った。

陸水、沿岸・海洋、島嶼は、この間に生物多様性が大きく損なわれており、この生物多様性の損失傾向は今後も続くと予想された。森林生態系と農地の生態系は、これら三つほどではないが、一九五〇年代の後半以降からの損失が大きい。今後の予測では、森林は横ばいだが、農地では損失が続くと予想されている。これは、人間の手が加わらなくなることによる「第二の危機」の影響がこれからも続くとみられるためだ。

「わが国の生物多様性の損失はすべての生態系に及んでおり、全体的に見れば損失は今も続いている」というのが、総合評価の結論である。総合評価は、地球温暖化が一層進むことによって、さらなる損失が生じることが予想されると警告し、中でも、温暖化の影響を受けやすい陸水や島嶼、沿岸・海洋の生態系では「今後、不可逆的な変化を起こすなど重大な損失に発展する恐れがある」と危機感を表明している。



日本の維管束植物の絶滅年代 (環境省の資料による) . 2003～04年の調査.



土地利用および生態系の面積の変遷 (環境省の資料による) . 注記したもの以外は1960年代に対する2000年代の割合. *1900年ごろ, **1945年を100とする.

注1 攪乱 …… かき乱すこと
 注2 島嶼 …… 大小の島々のこと

(井田 徹治 『生物多様性とは何か』)

問1 —— 線部1「長く」の品詞名を漢字で答えなさい。

問2 —— 線部2「きりがない」の意味として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 終わりがない イ 仕方がない ウ どうしようもない エ 意味がない

問3 空欄Iに入るものとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自然から人間に対する働きかけが減ること
イ 人間から自然に対する働きかけが減ること
ウ 人間から自然に対する働きかけが増えること
エ 生物から自然に対する働きかけが増えること

問4 —— 線部3「生態系の攪乱」について、本文の内容に合ったものはどれですか。次の中から一つを選び、記号で答えなさい。

- ア 有害物質が体内にたまってしまった結果、オオサンショウウオに問題が発生している。
イ ブラックバスやブルーギルが固有種と交雑してしまう。
ウ アライグマはもともと、食用としてアメリカから持ち込まれた。
エ マングースが持ち込まれたのは、毒蛇対策のためであった。

問5 —— 線部4「環境中で分解されにくい農薬やポリ塩化ビフェニル(PCB)などの有害物質は、生物の体内に高濃度で蓄積する」ことと同じ内容を意味する例として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 家庭から廃棄されるごみが、河口に大量にたまってしまうこと。
イ 放置された魚網に、ウミガメなどの体が絡まってしまうこと。
ウ 湖にまかれた殺虫剤が水鳥の体内にたまり、水鳥の数が減少すること。
エ 森林を伐採し、新たな土地をつくることで、森林の保水能力が失われること。

問6 —— 線部5「これらの三つの危機」に当てはまらないものを次の中から一つを選び、記号で答えなさい。

- ア 人間が外から持ち込んだ生物によって、自然環境が影響を受けること。
イ 魚などを獲りすぎてしまった結果、生態系が変化すること。
ウ 人間が関与しなくなること、生息する生物の種類が変わること。
エ 豊かであるはずの自然が開発されてしまい、「里山」や「里地」が失われてしまうこと。

問7 ——線部**6**とあるが、環境省は、生物多様性についてどのような総合評価をまとめましたか。その内容が分かる箇所を本文中から四十字以上五十字以内で抜き出し、始めと終わりの五字で答えなさい。(句読点を含む)

問8 ——線部**7**「人間の手が加わらなくなる」ことの原因を、本文中の語句を用いて四十字以内で答えなさい。(句読点を含む)

問9 図**1**を用いて筆者が述べている問題点を、本文中から五字で抜き出しなさい。

問10 図**2**の資料からどのようなことが読み取れますか。十五字以上二十字以内で本文中から抜き出しなさい。

問11 図**3**の資料の空欄に入る語句を**A**は三字、**B**は二字で、本文中から抜き出しなさい。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

砂川凌^{すながわりょう}の『ブラック・マンホール(ブラマン)』というマンガが数々の賞を獲った。そこで、師匠^{ししやう}であるタカシマ剣^{けん}との対談が企画された。対談では、苦勞したタカシマのデビュー秘話と一作目から新人賞を獲った砂川のエピソードが語られた。

テーブルがブツと振動した。砂川のスマホだった。

砂川はスマホを人差し指でささつと撫^なで、はっと動きを止めて目を見開いた。

「どした？」

「……………ブラマンのアニメ化、決まったみたいです。編集さんからメールで」

「おおっ！」

俺は 1 拳^{こぶし}を握る。

「やった……………！ やったなあ、砂川！」

バシバシと砂川の背中を叩くと、ヤツは体をよじらせて逃げた。

昨今の漫画家にとって、賞はもちろんありがたいものだが、やっぱりアニメ化はでない。これで一気にキャラクターの絵が多くの人目に触れるようになって、爆発的に読者層が広がる。

俺はべつに、ブラマンがアニメ化されることに驚いて熱くなっているわけじゃない。そう遠くない未来にそうなるとは思っていた。ただ、砂川がそれを知る瞬間に立ち会えたことにすごく興奮したのだ。

嬉しかった。俺の好きなあの漫画が……………砂川のブラマンが、俺の目の前でどんどん大きく育っていくことが。

「おまえ、もつと喜べよ！」

「……………喜んでます」

まったく嬉しそうででもない砂川の、スマホ画面にあてている指が小刻みにふるえていることに、俺はようやく気づいた。俺はなんだか心が 2 して……………そして申し訳¹ない気持ちにもなった。

俺はなんでも、わかりやすく表に出ているものだけで判断していたかもしれない。こいつのこと、今までどれだけちゃんと見ていたのだろうか。

砂川はスマホを操り、担当編集者が送ってきたURLから、今回のアニメ制作に関わる会社のサイトや、楽曲の候補となっているミュージシャンについての情報を見た。俺は 2 亀²みたいに首を突き出し、一緒にあって砂川のスマホをのぞく。

細かい字がうまく読み取れず必死で文を追っていたら、案³の定³、目がしばしばしてきた。ドライアイには潤い補給。俺は目薬を取り出そうと、バッグの中を探る。

目薬を手に取りながら、俺は風呂に入ったみたいない気分になっていた。すっかりゆったりさっぱり、のんきに砂川に声をかける。

「いや、ほんとにさあ。運がいいだけの俺とは違って、おまえ、才能あるよ」

砂川はふとスマホから顔を上げ、抑揚^{よくよう}なく言った。

「タカシマさんって、運いいですか？」

「へ？」

4 急に冷や水をぶっかけられたような気がした。

俺が目薬を片手に 3 していると、砂川は淡々と続ける。

「編集さんから聞きましたよ。タカシマさんが栄星社で最初に持ち込み見ってもらった編集者って、志願者つぶしで有名だったみたいじゃないですか。電話を取った編集者が持ち込み受けることになってから、そこで当たったちゃうなんてのつけから運悪いですよ。その人、経費の使い込みがばれて一年でクビになったみたいだけど」

あわわ、と口が開く。二の句が X ままの俺をよそに、砂川はたたみかけた。

「あのデビュー話、タカシマさんはアレンジしてるけど、編集部では伝説になってますよ。原稿読んでくっついてトイレで土下座した男って、秘話の秘話となって。デビューのお膳立てしてくれた局長だって、すぐ定年退職してマレーシアにリタイア移住しちゃって、そのあとタカシマさん、二作目にこぎつけるのにだいぶ苦労したそうじゃないですか」

4 頭に血がのぼった。土下座したことまで話すなんて、局長のおしゃべりめ。そして編集部で知られているとも思わず、局長が海外にいるのをいいことに都合よく吹聴していた俺って、なんてまぬげなんだ。

なんだか騙された気分だった。砂川はいつから知ってたんだ？ そういうことはもっと早く言ってくれよ。赤っ恥じやないか。

「それに、タカシマさんってじゃんけん弱いし、宝くじ毎回買ってるけど当たったためしがないし、電車乗ってもたいがい座れないし、仕事場のティッシュ箱、最後の一枚はだいたいタカシマさんが引いて新しいの出してるし、ネットで買い物するとびっくりするくらいしょっちゅう不良品に当たるし」

「……：……う」
何かのスイッチが入ったみたいに、砂川は多弁になった。まるで責められているような気持ちにもなる。そしてヤツはぴしりと鋭利な刃を刺した。

「ぼく、タカシマさんが運のいい人だなんて思ったこと、一度もないですよ」

5 やめろ……：俺をこれ以上、みじめにさせるな……：

ああ、そうだよ、たしかにそうだよ。才能がないから、せめて「運がいい」なんて自分で自分にそう言い聞かせているだけだよ。俺は運すらいいわけではなく、あのデビューはすべて局長の人徳のおかげでしかない。

「まあ……：そうかもな。俺は単に、局長に救われたというか……：」

認めざるを得なくてしどろもどろになっている俺に、砂川はふるつと首を横に振る。

「タカシマさんが局長に救われたんじゃないやなくて、作品がタカシマさんに救われたんです」

は、と俺は砂川を見た。砂川は透き通った瞳で俺を見つめてこう続けた。

「タカシマさんは、運じゃなくて努力の人です。ぼくは尊敬してます。すごく」
なんだよ……：なんなんだよ。

そんなことを言いながらも、砂川は表情を変えない。体が熱くなるのを感じながら俺は、砂川の言うことには一塵の嘘もごまかしてもないのだと確信した。

ヤツはいつもそうだった。大事だと思いうことから、決して目をそらさない。ネーム切り、ペン先の使い分け、コマ割りの運び。俺のそばで、水をぐんぐんと吸い上げていくスポンジみたいに技術を自分のものにしていった砂川。

そしてそのとき同時に、俺のこともずっと見てくれていたんだ。

ほ、と Y をなでおろしたい気分だった。

俺も、ちゃんと気づくことができて良かった。
俺のことを誰よりも認めてくれる、無口な理解者がすぐそばにいたことに。

飲み干したトマトジュースのグラスが、うつすらと赤くぼやけている。俺は砂川に顔を向けた。

「今日の対談、おまえと一緒に雑誌に出られて嬉しかったよ。すごくいい記念になった。ありがとな」

砂川は依然、ニコリともせず答える。

「いえ、こちらこそ。こういうことでもないとはく、自分からタカシマさんに会いたいか言えないから」

つつけんどんな物言い。砂川だ、これが。

俺は「そういうことは、もっとにこやかに言えよ！」と言って笑った。笑った。笑ってるのに。

どういうわけだか涙目だ。目薬なんて、やっぱりいらなかった。

（青山 美智子 『赤と青とエスキース』）

問1 空欄1～4に入る適切な語を次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ぼかんと イ ほわっと ウ ぐうっと エ かあっと

問2 —— 線部1「申し訳ない気持ちにもなった」とあるが、その時の「俺」の心情の説明として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 砂川のことを無感動な人間だと捉えていたことをわびる気持ち。
イ 砂川が恐怖心を抱いていることを想像できず後悔する気持ち。
ウ 砂川が虚勢をはっていることに気付かなかった自分を責める気持ち。
エ 砂川と一緒に動揺してしまったことを恥ずかしく思う気持ち。

問3 —— 線部2「亀みたいに」に使われている表現技法を漢字で答えなさい。

問4 —— 線部3「案の定」の意味として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 昔から決まっていること
イ 予想通りであること
ウ 不安に思うこと
エ 安心してしまうこと

問5 —— 線部4「急に冷や水をぶっかけられたような気がした」とあるが、ここでの心情の説明として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 急に話題が変わったことにひどく動揺している。
- イ 突然自分の考えに賛成されとまどっている。
- ウ 運が良いか悪いかについて追及され困惑している。
- エ 自分の発言に真つ向から反論されとまどっている。

問6 空欄Xに入る言葉として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 告げない
- イ 継げない
- ウ 付けない
- エ 着けない

問7 —— 線部5「やめろ……俺をこれ以上、みじめにさせるな……」とあるが、この時の「俺」の心情の説明として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分には才能がなく、運がよかっただけと公言していたことを否定され動揺している。
- イ 局長には人徳があったのに、自分のせいで退職させられたことを知らされ驚いている。
- ウ 自分の本当の姿を後輩に知られてしまったことで、怒りにうち震えている。
- エ 自分が運の良い人間だということを、後輩に信じてもらえず悲しんでいる。

問8 —— 線部6「しどろもどろ」の意味として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 話すことばがゆっくりになること
- イ 話している内容が全く逆さまになること
- ウ ことばや話の内容がひどく乱れること
- エ 話の内容が飛躍してしまうこと

問9 空欄Yに入る身体の部位を漢字一字で答えなさい。

問10 —— 線部7「目薬なんて、やっぱりいらなかった」とあるが、それはなぜですか。解答欄に合うように二十五字以上三十五字以内で答えなさい。

③ 次の ―――― 線部の漢字の部分はひらがなに、カタカナの部分は漢字に直して書きなさい。

① 一切の責任を引き受ける。

② 思春期は大人への過渡期だ。

③ ペットの世話を任せる。

④ 社会の風潮に左右されない人物。

⑤ アンケートの対象を無作為に選ぶ。

⑥ アマリ物には福がある。

⑦ カイコがくわの葉を食べている。

⑧ 業界にクンリンする大物。

⑨ ゲシに向かって、昼の時間が長くなる。

⑩ 職務にチュウジツな人。

④ 学びの喜びを感じるのは、どのようなときですか。あなたの経験を一つ挙げて、百字以上百二十字以内で書きなさい。